

大阪市障がい者施策推進協議会障がい者計画策定・推進部会

第1回ワーキング会議 議事要旨

日 時 : 令和4年5月24日(火) 午前10時から午前11時30分まで

会 場 : 大阪市役所 屋上階 P1 共通会議室

【 議題1 ワーキング会議座長・副座長の選出 】

- ・ 座長には三田委員、副座長には井上委員を選出。

【 議題2 大阪市障がい者等基礎調査について(案) 】

《 資料2、資料2参考資料について説明 》

- ・ 障がい者と同居していない家族にも届くような調査票の発送方法を考慮してほしい。
- ・ アンケートが届かない、回答できない人たちの課題が把握できるよう工夫してほしい。
⇒計画への反映、計画策定時には、基礎調査の結果だけでなく、自立支援協議会をはじめ関係機関などから様々な意見をお聞きしご議論いただく。
- ・ 回答へのサポート体制があれば、回答数も伸びるのではないか。
- ・ 設問を極力減らし、回答しやすいように作成した方が良いのではないか。
- ・ メールアドレスを持たない事業所に対し、メールアドレスの登録を勧奨するべき。
- ・ 難病患者向けの対象者数を増やしていただきたい。

《 資料3-1、資料3-3について説明 》

- ・ ろう者向けの相談先を調査票に記載いただきたい。
⇒関係先と調整する。
- ・ 問9に新高額福祉サービスの認知度及び課題を調べるための選択肢を加えていただきたい。
- ・ 「問〇に進んで下さい」のフォントを見やすいようにしていただきたい。
- ・ 問20に具体例を例示すればわかりやすくなるのではないか。
- ・ ワクチン等の情報の提供が一番不安や困った点と考えるため、問20に情報が届かなくて困ったとの選択肢を加えていただきたい。
- ・ 問20に保健所への連絡が繋がらず、援助を受けられるかどうか不安があるとの選択肢を追加していただきたい。
- ・ 問21で「運動やスポーツ」と記載するとハードルが高い印象を与えるため、例えば軽い体操、ダンスなども選択肢に入れると回答しやすくなるのではないか。
⇒ダンスや軽い体操なども含む旨、設問に追記する。
- ・ 成年後見促進事業の認知度が低いと思うので、認知度及び有効性の検証を行う意味で問44の選択肢に加えていただきたい。また、制度説明を入れるとわかりやすいのではないか。
- ・ 問44の選択肢1の「成年後見」を「後見・補助・補佐」などにする方がわかりやすく、選択肢3は愛称であるため、正式な事業名称に修正するのが良いのではないか。

《 資料3-2、資料3-4について説明 》

- ・ ヤングケアラーの設問に「誰を介護しているのか」を追加した方が良いのではないか。
- ・ ヤングケアラーを18歳未満とした理由は何か。
⇒法的には定義はないが、設問を明確にするため、日本ケアラー連盟の定義「18歳未満」を準用した。
- ・ 問13の選択肢11を選択肢1に移動したらどうか。小さな子どもでもできるのが見守りや声かけだけである。
- ・ 問26について、家族自身への設問として、再度検討いただきたい。
- ・ 問35の設問の対象が障がいのある方のみになっている理由は何か。
⇒障がいのある方の支援の観点で設定したが、再度検討する。

《 資料4について説明 》

質疑等なし